

地理情報システム再構築事業に係る  
要求水準書

令和6年4月

姫路市

## 1 事業名

地理情報システム再構築事業

## 2 目的

本市は、現在、庁内用地理情報システム（以下「庁内用 GIS」という。）及び公開用地理情報システム（以下「公開用 GIS」という。）を運用しているが、これらが相互に異なるシステムであることから、データの重複管理を余儀なくされており、また、両システム間の円滑なデータ連携にも支障するなど運用上の課題を抱えている。については、これらの諸課題を解決し、運用の効率化を図るため、両システムを一体的に再構築するもの。

## 3 履行場所

姫路市役所、受託者の事業所及び受託者の準備する国内のデータセンター

## 4 事業期間

- (1) 再構築（地理情報システム再構築業務委託契約の契約期間をいう。）

令和 6 年 7 月 1 日から令和 7 年 1 月 3 1 日まで（予定）

- (2) サービス利用（地理情報システムサービス利用契約の契約期間をいう。）

令和 7 年 2 月 1 日から令和 1 2 年 1 月 3 1 日まで（予定）

※ 姫路市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例（平成 1 7 年姫路市条例第 3 号）に基づく長期継続契約とする予定である。なお、サービス利用に係る事業期間終了後、事業内容を評価した上で、引き続き令和 1 2 年 2 月 1 日から令和 1 7 年 1 月 3 1 日までの長期継続契約を締結する場合がある。

## 5 導入スケジュール（本市想定）

令和 6 年 7 月 システム再構築着手

↓

令和 7 年 1 月 システム仮稼働

2 月 システム本稼働

## 6 提案上限金額（消費税及び地方消費税相当額を除く。）

- (1) 再構築に係る費用

1 4, 1 0 0 千円

- (2) サービス利用に係る費用

3 0, 9 0 0 千円（月額 5 1 5 千円）

※ 年度ごとの予算額を保証するものではなく、本市の予算の減額又は削減があった場合は契約を変更し、又は解除することができる。この場合において、受託者に損害があるときは、受託者はその損害賠償を本市に請求することができる。この場合における賠償額は、受託者と本市の協議の上定めるものとする。

## 7 現行システムの概要

### (1) 庁内用 GIS

#### ア システム導入形態

LGWAN-ASP サービス

#### イ ユーザ認証

本市が別途運用しているグループウェアから SSO 連携により庁内用 GIS にログインしている。なお、庁内用 GIS を利用するユーザについては、所属単位ではなく、個人単位である。

#### ウ 掲載地図情報

基本地形図、航空写真、住宅地図、認定道路、都市計画、上水道、下水道等の地図情報ごとのサイトと、サイトを構成するレイヤを掲載している。数量は基本地形図を構成する地物レイヤやユーザの個人レイヤを含めて約 30 サイト、3,000 レイヤとなっている。レイヤについては、地物レイヤ等の点、線、面で構成されたベクタレイヤと地形図、航空写真、住宅地図等のラスタレイヤがある。なお、サイトやレイヤについては、それぞれに閲覧制限を所属グループ又はユーザ単位で設定している。

#### エ 機能概要

##### (7) 地図閲覧・編集システム

地図表示、属性表示、検索、計測、印刷・画像出力、データインポート・エクスポート、図形登録・編集、属性登録・編集、関連ファイル登録・編集、解析・空間演算、主題図作成

##### (1) 管理システム

グループ・ユーザ管理、サイト・レイヤ管理、印刷テンプレート管理、権限管理、ライセンス（同時接続数）管理、ログ管理

### (2) 公開用 GIS

#### ア システム導入形態

インターネットクラウドサービス

#### イ 掲載地図情報

公共施設、文化・交流、福祉・医療、教育等のカテゴリごとに点レイヤと属性情報で構成される施設情報とハザードマップ、都市計画、認定道路等の面、線レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツ、基本地形図、Google 地図・航空写真、民間地図等の背景図を掲載している。施設情報及び地図コンテンツは約 1,000 レイヤで構成されている。

#### ウ 機能概要

##### (7) 地図公開システム

地図表示、属性表示、検索（住所・目標物）、計測、印刷・画像出力、一時図形作図、URL 共有、QR コード作成、ルート検索

##### (1) 地図編集システム

地図表示、属性表示、検索、計測、印刷、データインポート・エクスポート、図形登録・編集、属性登録・編集、関連ファイル登録・編集

(ウ) 管理システム

グループ・ユーザ管理、テーマ・レイヤ管理、属性管理、権限管理、ログ管理、地図公開機能

## 8 業務内容（要求水準）

(1) 地理情報システムの再構築

別紙「地理情報システム再構築に係る要求水準回答書（様式 8-1）」において、以下アからクまでに列記する再構築要件、別表 1 及び別表 2 に掲げる機能要件並びに別表 3 に掲げる非機能要件に関し、対応する各項目の「適合状況」欄に、公告日時点の現状を「○」、「△」又は「×」のいずれかで回答すること。

パッケージ標準機能として対応が可能な場合は「適合状況」欄に「○」と回答すること。パッケージ標準機能としては対応できないものの、見積額の範囲内で代替対応（オプションやカスタマイズを含む。）が可能な場合は「適合状況」欄に「△」と回答し、別途任意の様式で提出する提案書に代替対応の内容を記載するとともに、「提案書記載頁」欄に当該記載を行った頁を記載すること。なお、対応不可の場合は「適合状況」欄に「×」と回答することとなるが、「区分」欄が「必須」に指定されている項目について「×」と回答する場合は、**失格**とする。

**※ 「適合状況」欄に「△」と回答した場合であっても、提案書に記載された回答等を考慮した上で、本市が想定する基準を満たしていないと判断する場合は、「×」と回答したものとみなすので留意すること。**

※ 「提案書記載事項」欄に記載がある項目については、別途任意の様式で提出する提案書にその内容を記載するとともに、「提案書記載頁」欄に当該記載を行った頁を記載すること。

ア クラウドサービスによるシステム構築

新システムは、原則として Web アプリケーション方式（ブラウザ方式）とし、以下のとおりシステムを構築するものとする。

(ア) 庁内用 GIS

LGWAN-ASP サービスにより構築し、本市職員が本市パソコンにインストールされた Web ブラウザを通じてシステムを起動するものとする。

なお、ブラウザ方式による構築ができない場合に限り、アプリ版（リッチクライアント版）による構築を可とする。その場合、アプリ版を動作させるために必要なライセンス等が別途ある場合は、全て見積りに含めること。

また、HTTP など標準的なプロトコル以外を通信で使用する場合は、ネットワーク環境適合を確認するため、使用するポート等について情報提供を依頼することがある。

(イ) 公開用 GIS

インターネットクラウドサービスによる構築を基本とし、本市職員又は市民等がパソコン及びスマートフォンにインストールされた Web ブラウザを通じてシステムを起動するものとする。

イ 必要なソフトウェア製品（ライセンスを含む）の発注、納品

庁内用 GIS に搭載する住宅地図（株式会社ゼンリン「Zmap-TOWN II」）及び公開用 GIS に搭載する背景用民間地図等、必要なソフトウェア製品（ライセンスを含む）の発注、納品を行うこと。なお、同時接続数については、以下のとおりとする。

(7) 庁内用 GIS

- (i) システムの同時接続数  
50 ライセンス
- (ii) 住宅地図の同時接続数  
20 ライセンス

(イ) 公開用 GIS

- (i) システムの同時接続数  
無制限
- (ii) 背景用民間地図の同時接続数  
無制限

ウ データの移行

公開用 GIS については現行システムに搭載された地図情報及び関連ファイルを、庁内用 GIS については現行システムに搭載された地図情報、関連ファイル、グループ・ユーザ情報及び印刷レイアウト等のデータを、以下のとおり新システムに不足なく移行するものとする。なお、現行システムの保有レイヤ数は、公開用 GIS が約 1,000 レイヤ、庁内用 GIS が約 3,000 レイヤである。

- (7) 現行システムからのデータの抽出は、現行システム事業者が行うものとする。
- (イ) 受託者は、抽出した現行システムのデータを新システムに適合するように加工し、取り込むこと。
- (ウ) データの取り込み後、新システムと現行システムのデータの間には不整合がないか確認し、不足するデータがある場合は、本市と協議の上作成すること。

エ クライアント環境

以下のクライアント環境に対応すること。

(7) 庁内用 GIS

- (i) クライアント OS  
Windows 10 Pro、Windows 11 Pro
- (ii) 実行環境
  - ・ Web ブラウザの場合  
Microsoft Edge、Google Chrome  
Java、ActiveX、.NET 等のプログラムを別途必要としないこと。
  - ・ アプリ版の場合  
ClickOnce 等による自動更新機能を実装していること。なお、アプリの実行やアップデートに管理者権限を要しないこと。  
また、本市が運用する資産管理ツールにより一斉配布でセットアップできること。
- (iii) ユーザ数  
約 4,500 名程度

- (iv) クライアント台数  
約 3, 500 台
- (イ) 公開用 GIS (パソコン)
  - (i) クライアント OS  
Windows 10 Home/Pro、Windows 11 Home/Pro、Mac OS
  - (ii) Web ブラウザ  
Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safari  
Java、ActiveX、.NET 等のインストールを必要としないこと。
- (ウ) 公開用 GIS (スマートフォン)
  - (i) クライアント OS  
Apple iOS、Google Android
  - (ii) Web ブラウザ  
Google Chrome、Safari  
Java、ActiveX、.NET 等のインストールを必要としないこと。

#### オ 操作研修

新システムの導入時に、庁内用 GIS については全庁を対象とした基本操作研修及び運用管理者を対象とした管理者研修を、公開用 GIS については運用管理者を対象とした管理者研修をそれぞれ令和 6 年 12 月 27 日までに実施すること。

#### カ マニュアルの作成

新システムの操作方法について、機能毎の利用者マニュアル及び管理者マニュアルをそれぞれ令和 6 年 12 月 27 日までに作成すること。

#### キ 新規コンテンツの追加

公開用 GIS について、本市が保有する最新の基本地形図を表示し、注意事項や凡例を含むレイアウトにより 1/2500 や 1/5000 といった本市が指定する縮尺で印刷することが可能なコンテンツを再構築時に追加すること。

#### ク プロジェクト管理

進捗、課題管理、会議体の運営等

#### (2) 地理情報システムサービスの利用

別紙「地理情報システムサービス利用に係る要求水準回答書（様式 8-2）」において、以下ア及びイに列記するサービス利用要件に関し、対応する各項目の「対応可否」欄に、「○」、「△」又は「×」のいずれかで回答すること。

地理情報システムサービス利用契約（以下「サービス利用契約」という。）の範囲内で対応が可能な場合は「対応可否」欄に「○」と回答すること。一部を満たさない場合やサービス利用契約の範囲内での対応が不可となる場合は「△」と回答し、別途任意の様式で提出する提案書に不適合箇所を記載するとともに、「提案書記載頁」欄に当該記載を行った頁を記載すること。なお、対応不可の場合は「対応可否」欄に「×」と回答することとなるが、「区分」欄が「必須」に指定されている項目について「×」となる場合は、**失格**とする。

**※ 「対応可否」欄に「△」と回答した場合であっても、提案書に記載された回答等を考慮した上で、本市が想定する基準を満たしていないと判断する場合は、「×」と回**

答したものとみなすので留意すること。

※ 「提案書記載事項」欄に記載がある項目については、別途任意の様式で提出する提案書にその内容を記載するとともに、「提案書記載頁」欄に当該記載を行った頁を記載すること。

ア サービス利用

- (ア) 障害発生時に即座に対応できるよう、監視・連絡・作業体制を整備すること。
- (イ) 以下の事項について、サービス利用契約の範囲内で実施すること。
  - (i) 新システム運用期間中において、本市より基本地形図、航空写真、都市計画図、地番参考図、ハザードマップのデータ更新依頼があった場合は、受託者においてサービス利用契約の範囲内で庁内用 GIS の更新作業を実施すること。  
なお、更新依頼は月 1 回程度の頻度で面的データの更新作業が発生するものとする。
  - (ii) 新システム運用期間中において、本市より基本地形図、航空写真、都市計画図、地番参考図、ハザードマップ以外の面的データの更新依頼があった場合は、受託者においてサービス利用契約の範囲内で庁内用 GIS の更新作業を実施すること。
  - (iii) 新システム運用期間中において、庁内用 GIS に搭載する住宅地図をサービス利用契約の範囲内で年 1 回最新のものに更新を行うこと。
  - (iv) 新システム運用期間中において、公開用 GIS に搭載する背景用民間地図をサービス利用契約の範囲内で年 1 回最新のものに更新を行うこと。
  - (v) 新システムのインポート機能やエクスポート機能で対応できない大容量のデータについて、本市の依頼に基づき、サービス利用契約の範囲内で受託者においてインポート及びエクスポートを実施すること。なお、依頼は月 1 回程度の頻度とする。
  - (vi) 庁内用 GIS から公開用 GIS へデータ連携を行う際にエラーが発生した場合は、受託者においてサービス利用契約の範囲内でデータの連携作業を行うこと。
  - (vii) 年間（12 箇月）あたり 3 サイト、20 レイヤを限度に本市の求めに応じてサービス利用契約の範囲内で新システムに搭載すること。
  - (viii) 例年 4 月に生じる大規模な人事異動対応及び例月複数回生じる小規模な人事異動に係るユーザ・グループ・レイヤアクセス権限等の権限設定変更について、CSV 形式等のデータにより一括更新できない場合は、サービス利用契約の範囲内で対応すること。
  - (ix) システムの最新のバージョン又は機能改善版がリリースされた場合は、当該バージョンへの移行を実施すること。
  - (x) システムの不具合又は脆弱性を修正するためのパッチを適用すること。
  - (xi) クライアント OS 又は Web ブラウザのサポート期限切れによる新たなクライアント OS 又は新たな Web ブラウザのリリースがあった場合はシステムをそれらに対応させること。
- (ウ) 今回調達する次期システムから次々期システムに移行する際に、次々期システムに取り込むためのデータの抽出作業をサービス利用契約の範囲内で実施すること。

## イ ヘルプデスク

新システムの操作に関する各ユーザからの問い合わせ対応等を行うため、本市の休日（姫路市の休日を定める条例（平成2年姫路市条例第15号）第2条第1項各号に掲げる本市の休日をいう。）を除く日（以下「開庁日」という。）について、新システムの操作に関する各ユーザからの電話及びメールによる問い合わせ対応等を行うためのヘルプデスクを以下のとおり設置すること。

- (ア) ヘルプデスクでの電話対応について、開庁日の午前8時35分から正午まで及び午後1時から午後5時20分まで対応可能であること。
- (イ) ヘルプデスクについて、メールでの受付が24時間365日可能で、受付日を基準日として翌開庁日以内に一次回答すること。

## 9 その他契約条件

### (1) 全般的事項

ア 姫路市契約規則（昭和62年姫路市規則第29号）に従うこと。

イ 契約締結時点で本市に業者登録があり、かつ、契約内容に応じた業種の登録があること。

ウ 契約内容等に疑義が生じた場合は、本市と協議の上、決定するものとする。

エ 受託者の責によるシステム再構築の遅延、要件の欠落、品質不適合等の発生のリスクについては、受託者が負担するものとする。

### (2) 情報セキュリティ関連

ア 受託者は、本事業の遂行上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。本事業完了後も同様とする。

イ 受託者は、本事業を遂行するに当たり、本市情報セキュリティポリシーを遵守すること。

ウ 本市が所有するデータの漏えいを防止するため、データ取扱責任者を定めること。データ取扱責任者は、受託者の各人員が不必要に本市所有データを取り扱うことがないように、作業中の監視を行うこと。

エ 受託者は、本事業に関わる各人員に対して情報セキュリティ教育を実施し、本市が求める情報セキュリティ水準が維持されるように絶えず努めること。

### (3) 著作権等

ア 導入するソフトウェアの著作権等の権利関係については、予め本市に対して十分な説明を行い、本市の承認を得ること。

イ 納入物に第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合は、本市が特に使用を指示した場合を除き、当該著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続きを行うこと。この場合、受託者は当該契約等の内容について事前に本市の承認を得ることとし、本市は既存著作物について許諾された条件の範囲内で使用するものとする。

## 10 納品条件

成果物、納入物は以下のとおりとする。



(1) 再構築に係る納入物件

- ア プロジェクト計画書
- イ 要件定義書
- ウ 基本設計書、システム構成図、ネットワーク構成図
- エ 詳細設計書、パラメータ設定一覧、マスタ設定表
- オ データ移行計画書、データ移行報告書
- カ テスト計画書、テスト結果報告書
- キ 仮稼働計画書、仮稼働報告書
- ク 本稼働計画書、本稼働報告書
- ケ 運用計画書
- コ 研修資料、操作マニュアル、運用マニュアル
- サ 進捗状況報告書、進捗管理表、課題管理表、会議資料、議事録、質疑応答等の記録
- シ その他本市との協議により納入することとなったドキュメント

(2) サービス利用に係る納入物件

- ア 監視状況報告書（月次及び年次）
- イ 課題管理表（月次）
- ウ 問い合わせ等への対応記録（月次）
- エ 問い合わせ等の件数集計表（月次）
- オ 作業報告書、障害対応報告書（作業、障害等発生の都度納入）
- カ 運用計画書（運用に変更が生じる都度、(1)ーケの納入物を更新）
- キ 運用マニュアル（運用に変更が生じる都度、(1)ーコの納入物を更新）
- ク 各種設計書等（システムに変更が生じる都度、(1)ーウ・エの納入物を更新）
- ケ 変更箇所に係るテスト計画書、テスト結果報告書（システムに変更が生じる都度納入）
- コ 操作マニュアル（システムの変更に伴い操作方法に変更・追加が生じる都度、(1)ーコの納入物を更新）
- サ その他本市との協議により納入することとなったドキュメント

(3) ドキュメントの提出方法等

ア 提出方法

原則として、紙媒体及び電子データ（Microsoft Office 2016 で閲覧可能な形式）で各 1 部を納入すること。電子データ化が困難な納入物件については、本市と協議の上、提出方法を決定するものとする。

イ 提出時期

(ア) 再構築に係るドキュメント

作業の段階に応じて、スケジュール上適切な時期に提出すること。また、業務完了時に、全てのドキュメント（作業の段階に応じて発生するものを含む全ての紙媒体）をバインダーに綴じて提出するとともに、全ての電子データを CD-R 又は DVD-R に格納し、提出すること。

(イ) サービス利用に係るドキュメント

月毎に提出が必要なものについては対象月の翌月末までに、最終月に係るもの

についてはサービス利用期間終了後、速やかに、年度毎に提出が必要なものについては対象年度終了後に、特定の事象の発生時に提出が必要なものについては事象への対応が完了した後、速やかに提出すること。

**別表 1 地理情報システム再構築に係る機能要件一覧（庁内用 GIS）**

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
1	全般	全般	全般	必須	ログイン時には、本市のグループウェアと連携し、シングルサインオンができること。
2	地図表示	ズーム	定率拡大縮小	必須	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。
3	地図表示	ズーム	矩形拡大	必須	表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。
4	地図表示	ズーム	矩形縮小	任意	表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し縮小できること。
5	地図表示	ズーム	縮尺指定	必須	指定の縮尺で地図を画面に表示できること。
6	地図表示	ズーム	拡大縮小	必須	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。
7	地図表示	移動	指定位置中心表示	必須	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示できること。
8	地図表示	移動	定率移動	必須	画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できること。
9	地図表示	移動	ドラッグ移動	必須	マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
10	地図表示	移動	座標指定	必須	座標値を任意に入力して、座標位置を中心に地図を画面表示できること。
11	地図表現	ラスター	ラスター表示	必須	ラスターデータをレイヤとして重ね合わせできること。
12	地図表現	ベクター	ベクター表示	必須	ベクターデータをレイヤとして重ね合わせできること。
13	地図表現	ベクター	アンチエイリアス	必須	ベクターデータをアンチエイリアスして表示できること。
14	地図表現	ベクター	透過表示	必須	ベクターデータを透過して重ね合わせ表示できること。
15	レイヤ操作	レイヤ表示	レイヤ表示切替	必須	画面上に表示させるレイヤの表示・非表示を切替えることができること。
16	レイヤ操作	レイヤ表示	スタイル設定	必須	レイヤごとに、線種、線色、塗りつぶし色等の表現を設定・変更できること。
17	レイヤ操作	レイヤ表示	表示縮尺範囲の設定	必須	レイヤの表示を任意の縮尺範囲でのみ表示するように設定・変更できること。
18	レイヤ操作	レイヤセット	レイヤセット保存	必須	レイヤの表示・非表示や、スタイルを記憶し、レイヤセットとして保存できること。また、複数のレイヤセットが保存できること。
19	レイヤ操作	レイヤセット	レイヤセット呼び出し	必須	保存されているレイヤセットを呼び出す事で、瞬時に多数のレイヤの表示・非表示やスタイルを切替えることができること。
20	レイヤ操作	マイレイヤ	マイレイヤ追加	必須	マイレイヤを追加できること。
21	レイヤ操作	マイレイヤ	マイレイヤ編集	必須	マイレイヤを編集できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
22	レイヤ操作	マイレイヤ	マイレイヤ削除	必須	マイレイヤを削除できること。
23	レイヤ操作	マイレイヤ	マイレイヤの共有設定	必須	マイレイヤの共有設定（ユーザ単位、グループ単位、全体）ができること。
24	背景図	背景図	背景図	必須	地形図、航空写真、住宅地図等を背景図として表示できること。
25	背景図	背景図	背景図	必須	地形図、住宅地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。
26	背景図	背景図	背景図	必須	背景図とレイヤを重ねて表示できること。
27	背景図	背景図	背景図	必須	背景図の切り替えができること。
28	画面表示	索引図表示	案内図表示	必須	メインの地図画面とは別に全体図（索引図）を表示し、メイン地図画面の表示領域を示すことができること。
29	画面表示	索引図表示	索引図指定移動	必須	索引図上をマウス操作でクリックし、メイン地図画面の表示位置を案内図上でクリックした位置に移動できること。
30	その他地図表示	凡例表示	凡例表示	必須	各レイヤの凡例を表示できること。
31	その他地図表示	縮尺表示	縮尺表示	必須	表示中の地図の縮尺を表示できること。
32	その他地図表示	座標表示	中心座標表示	必須	画面上に表示している地図の中心座標を表示できること。
33	その他地図表示	スケールバー表示	スケールバー表示	必須	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。
34	その他地図表示	コンパス表示	コンパス表示	必須	方位を示すコンパスを表示できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
35	その他地図表示	回転表示	回転表示	必須	角度を指定して、地図を回転表示できること。
36	その他地図表示	画面連動	連動表示	必須	複数画面を表示し、同期しながら地図連動が行えること。
37	属性管理	属性情報	属性情報管理	必須	図形に対するテキスト情報などを属性情報として関連付けて管理できること。
38	属性管理	属性情報	属性データ型	必須	属性情報として各種のデータ型（数値型、文字列型等）を利用できること。
39	属性管理	属性情報	属性登録	必須	作図した図形に対して関連する属性情報を登録できること。
40	属性管理	属性情報	属性編集	必須	指定した図形に関連付く任意の属性情報を編集し、更新できること。
41	属性管理	属性情報	属性削除	必須	指定した図形に関連付く任意の属性情報を削除できること。
42	属性管理	属性情報	属性一括更新	必須	選択した図形の属性情報を一括で更新できること。
43	属性管理	属性情報	入力支援	必須	入力フォームにおいて、カレンダーから日付を選択し入力できること。
44	属性管理	属性情報	入力支援	必須	入力フォームにおいて、プルダウンリストから選択し入力できること。
45	属性管理	属性情報	入力支援	必須	入力フォームにおいて、関連ファイルの設定ができること。
46	属性管理	属性情報	入力支援	任意	入力フォームを作成でき、フォームを用いて容易に属性を編集できること。
47	属性管理	属性情報	入力フォーム変更	任意	一部の入力フォーム（10画面程度）について、予め指定した独自のものに変更できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
48	検索	地図検索	住所検索	必須	住所情報による地図検索ができること。
49	検索	地図検索	地番検索	必須	地番情報による地図検索ができること。
50	検索	地図検索	目標物検索	必須	目標物による地図検索ができること。
51	検索	地図検索	キーワード検索	必須	キーワード入力による地図検索ができること。
52	検索	地図検索	リスト検索	必須	リスト選択による地図検索ができること。
53	検索	属性表示	1点指定	必須	マウス操作により地物をクリックし、対象地物の属性を表示できること。
54	検索	属性表示	円入力指定	必須	マウス操作により地図上に円を入力し、円内に含まれた地物の属性を抽出して表示できること。
55	検索	属性表示	多角形入力指定	必須	マウス操作により地図上に多角形を入力し、入力した多角形内に含まれた地物の属性を抽出して表示できること。
56	検索	属性検索	条件検索	必須	検索条件を設定して属性データを検索し表示できること。
57	検索	属性検索	対象図形表示	必須	条件検索で表示された属性一覧より選択した属性情報に対応する地物を地図表示できること。
58	検索	属性検索	対象図形強調	必須	条件検索で表示された属性一覧より選択した属性情報に対応する地物を強調して地図表示できること。
59	検索	属性検索	検索領域指定	必須	条件検索の際に、検索対象となる空間的範囲を指定して、領域内の属性データを検索・表示できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
60	属性データ処理	抽出結果	表示	必須	属性検索結果を一覧表示できること。
61	属性データ処理	抽出結果	並べ替え	必須	抽出結果の一覧表を昇順もしくは降順に並べ替え表示できること。
62	属性データ処理	抽出結果	抽出結果出力	必須	検索した属性情報を CSV 形式等で出力できること。
63	印刷	地図印刷	地図印刷	必須	画面表示した地図データを接続されているプリンタにて紙に印刷できること。
64	印刷	地図印刷	印刷プレビュー	必須	印刷状態をあらかじめ画面上で確認できること。
65	印刷	地図印刷	縮尺指定	必須	印刷する地図縮尺を指定できること。
66	印刷	地図印刷	画面範囲印刷	必須	画面上で表示されている地図の範囲を印刷できること。
67	印刷	地図印刷	印刷プレビュー移動	必須	プレビュー上で印刷範囲を調整できること。
68	印刷	地図印刷	印刷レイアウトの変更	必須	印刷レイアウト（印刷時の地図や装飾の配置や大きさ）を職員により、自由に変更できること。
69	印刷	地図印刷	印刷時の装飾	必須	印刷する地図にタイトルや方位シンボル等の装飾を追加できること。（タイトル、方位シンボル、スケールバー、縮尺文字列、主題図凡例、任意のテキスト、任意のピクチャ、注意文等）
70	印刷	印刷テンプレート	印刷テンプレート	必須	職員により、印刷テンプレートを作成できること。 印刷テンプレート保存した印刷レイアウトを呼び出して印刷できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
71	印刷	印刷テンプレート	印刷テンプレート	任意	職員により、印刷テンプレートの項目（タイトル、地図、画像、凡例、属性、スケール等）を変更できること。
72	計測	計測図形	距離計測	必須	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の距離を計算できること。
73	計測	計測図形	距離計測（シンボル間）	必須	地図上でマウスクリック等により指定したシンボル間の距離を計算できること。
74	計測	計測図形	面積計測	必須	地図上でマウスクリックにより指定した図形の面積を計測できること。
75	計測	計測図形	図形選択	必須	既存地物をマウスクリックにより選択し、その面積・周長を計測できること。
76	計測	計測図形	同心円、角度	必須	円の半径・ピッチ等を指定して、地図上に同心円を作図できること。
77	計測	計測図形	集計	任意	計測結果を集計できること。
78	作図編集	図形登録	点（アイコン・シンボル）	必須	所定のレイヤにマウス操作により点（アイコン・シンボル）を登録できること。
79	作図編集	図形登録	線	必須	所定のレイヤにマウス操作により線を登録できること。
80	作図編集	図形登録	面（多角形）	必須	所定のレイヤにマウス操作により多角形を登録できること。
81	作図編集	図形登録	面（円）	必須	所定のレイヤにマウス操作により円を登録できること。
82	作図編集	図形登録	面（矩形）	必須	所定のレイヤにマウス操作により矩形（長方形）を登録できること。



No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
83	作図編集	図形登録	文字列	必須	所定のレイヤにマウス操作により文字列を登録できること。
84	作図編集	図形編集	削除	必須	作図済みの図形を削除できること。
85	作図編集	図形編集	移動	必須	作図済みの図形をマウス操作により指定して移動できること。
86	作図編集	図形編集	頂点追加	必須	作図済みの図形に頂点を追加できること。
87	作図編集	図形編集	頂点移動	必須	作図済みの図形の頂点を移動できること。
88	作図編集	図形編集	頂点削除	必須	作図済みの図形の頂点を削除できること。
89	作図編集	図形編集	シンボル変更	必須	作図済みの点図形に割り当てられるアイコンやシンボルを変更できること。
90	作図編集	図形編集	文字列変更	必須	作図済みの文字列図形に割り当てられる文字列の内容を変更できること。
91	作図編集	図形編集	スタイル変更	必須	作成済みの線・面図形の線種、線色、塗りつぶし色等の表現をレイヤ単位で変更できること。
92	作図編集	図形編集	サイズ変更	必須	作図済みの点図形や文字列図形のサイズを変更できること。
93	作図編集	図形編集	複製	必須	選択された図形を複製して同一レイヤ内で登録できること。
94	作図編集	図形編集	複製	任意	選択された図形をレイヤ間で複製して登録できること。
95	作図編集	図形編集補助	スナップ機能	必須	図形の作図時に既存の図形にスナップする機能があること。
96	作図編集	図形編集補助	円半径入力	必須	半径を数値で入力して円図形を登録できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
97	作図編集	図形編集補助	入力時の長さ半径指定	任意	マウスによる図形入力時に線分の長さや半径を指定できること。
98	作図編集	図形編集補助	図形回転	任意	図形を角度指定して回転できること。
99	作図編集	図形編集補助	図形拡大縮小	必須	図形を拡大・縮小できること。
100	解析等	主題図機能	ラベル主題図	必須	属性情報の値を地図上に文字表示できること。
101	解析等	主題図機能	ランク主題図	必須	属性情報の値の範囲で地図上の図形色分け、シンボル分け表示できること。
102	解析等	主題図機能	個別値主題図	必須	属性情報の値で地図上の図形色分け、シンボルを表示できること。
103	解析等	主題図機能	円棒グラフ主題図	必須	属性情報の値で地図上に円グラフや棒グラフを表示できること。
104	解析等	主題図機能	主題図凡例表示	必須	主題図の凡例を表示できること。
105	解析等	空間演算	バッファ	必須	作成済みの図形のバッファを作成できること。
106	解析等	空間演算	図形結合	必須	2つ以上の図形を結合できること。
107	解析等	空間演算	図形くり抜き	必須	作成済みの図形を別の図形でくり抜きできること。
108	解析等	空間演算	差分抽出	任意	2つの図形の差分を抽出できること。
109	解析等	空間演算	交差抽出	必須	2つの図形の交差を抽出できること。
110	関連ファイル	関連ファイル編集	関連ファイル追加	必須	関連ファイルを追加できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
111	関連ファイル	関連ファイル編集	関連ファイル編集	必須	関連ファイルを編集できること。
112	関連ファイル	関連ファイル編集	関連ファイル削除	必須	関連ファイルを削除できること。
113	出力／入力	データの出入力	データのインポート	必須	Shape のデータをインポートできること。
114	出力／入力	データの出入力	データのインポート	任意	DXF、GML、KML、CSV 形式のデータをインポートできること。なお、全てのファイル形式によるインポートが可能な場合のみ、本要件を満たすものとする。
115	出力／入力	データの出入力	データのエクスポート	必須	Shape のデータをエクスポートできること。
116	出力／入力	データの出入力	データのエクスポート	任意	DXF、GML、KML、CSV 形式のデータをエクスポートできること。なお、全てのファイル形式によるエクスポートが可能な場合のみ、本要件を満たすものとする。
117	出力／入力	データの出入力	アドレスマッチング	必須	CSV 形式等の住所付属性情報を地図上にインポートし、住所情報を基に地図上にポイントを作成、属性の取込みができること。
118	出力／入力	データの出入力	座標付データインポート	必須	CSV 形式等の座標付属性情報をインポートし、座標情報を基に地図上にポイントを作成、属性の取込みができること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
119	出力／入力	データの出入力	座標付データエクスポート	必須	地図上に表示しているポイントレイヤについて、CSV形式等の座標付属性情報としてエクスポートできること。
120	出力／入力	画像ファイル出力	画像ファイル出力	必須	表示中の地図を画像ファイル形式(JPG形式、PNG形式、GIF形式等)で出力できること。
121	システム管理	ユーザ管理	ユーザ登録	必須	新規ユーザの登録ができること。
122	システム管理	ユーザ管理	ユーザ編集	必須	作成済みユーザの設定を編集できること。
123	システム管理	ユーザ管理	ユーザ削除	必須	作成済みユーザを削除できること。
124	システム管理	ユーザ管理	ユーザ一括更新	必須	CSV形式等のデータによりユーザを一括更新（登録・変更・削除）できること。なお、管理者側で一括更新できないものの、事業者側で一括更新の作業をサービス利用契約の範囲内で対応できる場合は本要件を満たすものとする。
125	システム管理	ユーザ管理	管理者設定	必須	ユーザに対して管理者権限を設定できること。
126	システム管理	グループ管理	グループ登録	必須	新規グループの登録ができること。
127	システム管理	グループ管理	グループ編集	必須	作成済みグループの設定を編集できること。
128	システム管理	グループ管理	グループ削除	必須	作成済みグループを削除できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
129	システム管理	グループ管理	グループ一括更新	必須	CSV形式等のデータによりグループを一括更新（登録・変更・削除）できること。なお、管理者側で一括更新できないものの、事業者側で一括更新の作業をサービス利用契約の範囲内で対応できる場合は本要件を満たすものとする。
130	システム管理	権限管理	レイヤのアクセス権設定（ユーザ）	必須	ユーザ単位でレイヤのアクセス権限（表示・編集・印刷・出力）を設定できること。
131	システム管理	権限管理	レイヤのアクセス権設定（グループ）	必須	グループ単位でレイヤのアクセス権限（表示・編集・印刷・出力）を設定できること。
132	システム管理	権限管理	関連ファイルのアクセス権設定（ユーザ）	必須	ユーザ単位で関連ファイルのアクセス権限（表示・編集）を設定できること。
133	システム管理	権限管理	関連ファイルのアクセス権設定（グループ）	必須	グループ単位で関連ファイルのアクセス権限（表示・編集）を設定できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
134	システム管理	権限管理	本務及び兼務設定	必須	本務所属グループ、兼務所属グループの設定をユーザ単位で管理できること。
135	システム管理	権限管理	上記各アクセス権の一括設定	必須	CSV形式等のデータによりアクセス権を一括設定（登録・変更・削除）できること。なお、管理者側で一括更新できないものの、事業者側で一括更新の作業をサービス利用契約の範囲内で対応できる場合は本要件を満たすものとする。
136	システム管理	権限管理	レイヤセットの共有設定	必須	レイヤセットの共有設定（ユーザ単位、グループ単位、全体）ができること。
137	システム管理	権限管理	印刷レイアウトの共有設定	必須	印刷レイアウトの共有設定（ユーザ単位、グループ単位、全体）ができること。
138	システム管理	権限管理	主題図の共有設定	必須	主題図の共有設定（ユーザ単位、グループ単位、全体）ができること。
139	システム管理	権限管理	上記各共有設定の一括設定	任意	CSV形式等のデータにより共有設定を一括設定（登録・変更・削除）できること。なお、管理者側で一括更新できないものの、事業者側で一括更新の作業をサービス利用契約の範囲内で対応できる場合は本要件を満たすものとする。
140	システム管理	セッション管理	セッション一覧表示	任意	ログイン中のユーザを一覧表示できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
141	システム管理	ライセンス管理	同時接続数管理	必須	レイヤ単位で最大同時接続数の設定をすることによりライセンス管理ができること。
142	システム管理	レイヤ管理	レイヤ一覧表示	必須	登録済みレイヤの一覧を表示できること。
143	システム管理	レイヤ管理	レイヤ追加	必須	管理者によるレイヤ追加ができること。
144	システム管理	レイヤ管理	レイヤ編集	必須	管理者による登録済みレイヤの編集・設定変更ができること。
145	システム管理	レイヤ管理	レイヤ削除	必須	管理者による登録済みレイヤの削除ができること。
146	システム管理	操作ログ管理	操作ログ管理	必須	ログインからログアウトまでの操作ログを管理者側又は事業者側で取得できること。
147	システム管理	操作ログ管理	操作ログ検索・表示	必須	日時、ユーザ名、レイヤ名、操作内容等の条件により、操作ログを管理者側又は事業者側で検索・表示できること。
148	システム管理	操作ログ管理	操作ログ出力	必須	表示された操作ログを管理者側又は事業者側で CSV 形式等により出力できること。

別表2 地理情報システム再構築に係る機能要件一覧（公開用GIS）

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
1	地図公開	ポータル	ポータル	必須	システム名称、利用上の注意、新着情報、操作マニュアル、地図ページへのリンク等を表示したポータル画面があること。
2	地図公開	同意画面	同意画面	必須	地図ページへの遷移時に注意事項や利用規約を表示し、同意ボタンを押下した場合のみ、地図ページへ遷移できること。
3	地図公開	施設情報	施設情報	必須	点レイヤと属性情報で構成される施設情報を表示できること。
4	地図公開	施設情報	施設情報	必須	点レイヤはアイコンとして表示できること。
5	地図公開	施設情報	施設情報	必須	アイコンはシステム標準のものを用意すること。また、ユーザが任意で追加できること。
6	地図公開	施設情報	施設情報	必須	縮尺に応じて、アイコンを非表示にできること。また、非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。
7	地図公開	地図コンテンツ	地図コンテンツ	必須	線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。
8	地図公開	地図コンテンツ	地図コンテンツ	必須	線レイヤは、線の種類や太さ、色、透過度等を変更できること。
9	地図公開	地図コンテンツ	地図コンテンツ	必須	面レイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。
10	地図公開	地図コンテンツ	地図コンテンツ	必須	縮尺に応じて、レイヤを非表示にできること。また、非表示とする縮尺は、レイヤごとに設定できること。
11	地図公開	属性情報	属性情報設定	必須	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定・できること。



No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
12	地図公開	属性情報	属性情報表示	必須	アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、属性情報を表示できること。
13	地図公開	属性情報	属性データ型	必須	属性情報として数値、文字列、URL等のデータ型を利用できること。
14	地図公開	属性情報	URLリンク表示	必須	URLについてはハイパーリンクとして表示できること。
15	地図公開	属性情報	属性一覧表示	必須	地図に表示している地物の属性一覧を表示できること。
16	地図公開	属性情報	地図リンク	必須	属性一覧から、対応する地物の地図が表示できること。
17	地図公開	属性情報	属性一覧検索	必須	属性一覧画面から地物を検索できること。
18	地図公開	関連ファイル	関連ファイル設定	必須	施設情報や地図コンテンツに関連ファイルを設定できること。
19	地図公開	関連ファイル	関連ファイル表示	必須	アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、関連ファイルを表示できること。
20	地図公開	関連ファイル	画像表示	必須	画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。
21	地図公開	背景図	背景図	必須	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。
22	地図公開	背景図	背景図	必須	地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。
23	地図公開	背景図	背景図	必須	背景図の切り替えができること。
24	地図公開	地図表示	重ね合わせ	必須	施設情報や地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。
25	地図公開	地図表示	透過度設定	必須	背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
26	地図公開	地図表示	凡例	必須	表示しているアイコンや地図コンテンツに合わせた凡例を表示できること。
27	地図公開	地図表示	凡例	必須	凡例の表示・非表示を切替ができること。
28	地図公開	地図表示	メッセージ欄表示	必須	地図上にメッセージ欄を重ねて表示できること。また、不要な場合は非表示とできること。
29	地図公開	地図表示	現在地	必須	表示デバイスの位置情報から、現在地を表示できること。
30	地図公開	地図表示	中心表示	必須	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。
31	地図公開	地図表示	スケールバー表示	必須	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。
32	地図公開	地図表示	2画面表示	必須	2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。
33	地図公開	地図表示	2画面表示	任意	2種類の、異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を同一画面内に並べて表示できること。
34	地図公開	地図表示	2画面表示	必須	並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。
35	地図公開	地図表示	索引図	必須	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。
36	地図公開	地図表示	索引図	必須	索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。
37	地図公開	地図表示	索引図	必須	索引図の表示・非表示の切り替えができること。
38	地図公開	拡大縮小	定率拡大縮小	必須	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。
39	地図公開	拡大縮小	矩形拡大	必須	表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。
40	地図公開	拡大縮小	矩形縮小	任意	表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し縮小できること。
41	地図公開	拡大縮小	縮尺指定	必須	指定の縮尺で地図を画面に表示できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
42	地図公開	拡大縮小	縮尺範囲指定	必須	レイヤ毎に、表示する縮尺範囲を指定できること。
43	地図公開	拡大縮小	拡大縮小	必須	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。
44	地図公開	移動	指定位置中心表示	必須	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示できること。
45	地図公開	移動	定率移動	必須	画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できること。
46	地図公開	移動	ドラッグ移動	必須	マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。
47	地図公開	検索	住所検索	必須	住所情報による地図検索ができること。
48	地図公開	検索	目標物検索	必須	目標物による地図検索ができること。
49	地図公開	検索	キーワード検索	必須	キーワード入力による地図検索ができること。
50	地図公開	検索	リスト検索	必須	リスト選択による地図検索ができること。
51	地図公開	検索	ルート検索	必須	選択した地点の最短ルートを検索できること。
52	地図公開	印刷	地図印刷	必須	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。
53	地図公開	印刷	属性印刷	必須	地図と属性情報を合わせて印刷できること。
54	地図公開	印刷	凡例印刷	必須	地図と凡例を合わせて印刷できること。
55	地図公開	印刷	縮尺表示印刷	任意	縮尺を印刷画面に表示したまま印刷できること。
56	地図公開	印刷	コピーライト等印刷	必須	地図とコピーライト、利用上の注意等定型文を合わせて印刷できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
57	地図公開	印刷	縮尺指定固定印刷	必須	都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したもの（1/2500等）に固定できること。
58	地図公開	印刷	カスタムレイアウト	必須	都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際のレイアウトを予め指定した独自のものに変更できること。
59	地図公開	データ出力	地図画像出力	必須	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。
60	地図公開	データ出力	属性一覧出力	任意	CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、出力項目等の管理が可能であること。
61	地図公開	地図 URL 表示	地図 URL 表示	必須	表示している地図の内容を表示できる URL を表示できること。
62	地図公開	計測	計測	必須	距離、面積の計測が地図上で行えること。
63	地図公開	計測	計測	任意	計測結果を印刷・画像出力できること。
64	地図公開	作図	一時作図	必須	地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。
65	地図公開	作図	一時作図	必須	一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。
66	地図公開	スマートフォン対応	表示	必須	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。
67	地図公開	スマートフォン対応	全般	必須	ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。
68	地図公開	スマートフォン対応	バッファ設定	任意	タッチ操作時の操作バッファを地図コンテンツ別に設定できること。

No.	大分類	中分類	小分類	区分	機能要件
69	管理機能	公開管理	システム連携	必須	庁内用 GIS と公開用 GIS が連携して、庁内用 GIS に登録されたサイトやレイヤを施設情報や地図コンテンツとして公開用 GIS に登録できること。
70	管理機能	公開管理	システム連携	必須	庁内用 GIS におけるサイトやレイヤの設定を公開用 GIS の施設情報や地図コンテンツに引き継げること。
71	管理機能	公開管理	システム連携	必須	庁内用 GIS から公開用 GIS へ連携する際、属性の項目毎に公開・非公開が設定できること。
72	管理機能	公開管理	システム連携	必須	庁内用 GIS から公開用 GIS に連携するサイトやレイヤを任意に選択できること。
73	管理機能	公開管理	公開イメージ確認	必須	地図をインターネットに公開する前に公開イメージを確認できること。
74	公開承認	公開承認	公開承認	必須	地図のインターネットへの公開について、管理者による内容確認・承認機能があること。

別表3 地理情報システム再構築に係る非機能要件一覧（庁内用 GIS 及び公開用 GIS 共通）

No.	大分類	中分類	小分類	区分	非機能要件
1	システム	可用性	稼働時間	必須	ユーザがシステムを利用できる日及び時間は、原則として24時間365日とする。
2			稼働率 (庁内用 GIS)	必須	同時アクセス50台において、通常の閲覧、管理が行える状態における稼働率99.5%以上とすること。ただし、不可抗力による災害等、第三者が原因による不稼働は算定しない。
3			稼働率 (公開用 GIS)	必須	同時アクセス3,000台において、通常の閲覧、管理が行える状態における稼働率99.5%以上とすること。ただし、不可抗力による災害等、第三者が原因による不稼働は算定しない。
4		冗長性	冗長性	必須	システムは冗長化された構成とすること。
5	データセンター	全般	全般	必須	サービス提供を行うデータセンターは日本国内に立地していること。
6		基本要件	立地条件	必須	震度7クラスの地震が発生した場合でも使用できる対策がとられていること。
7			防災対策	必須	災害時サーバの機能が損なわれないような防火、防水、防雷対策が施されていること。
8			入退室管理	必須	ICカードと暗証番号による管理、生体認証による入退室管理などがなされていること。
9			停電対策	必須	二重化した電源設備、UPSなど、サーバ保護の設備を備えていること。
10		監視要件	死活監視	必須	監視システムを利用して、提供システムの稼働状況を監視すること。
11			性能監視	必須	監視システムを利用し、サーバに関わるCPU、メモリ、ハードディスクの利用状況等を監視すること。
12	稼働監視		必須	OSやアプリケーションのログからシステムの稼働状況を監視すること。	

No.	大分類	中分類	小分類	区分	非機能要件
13			報告	必須	異常を検知した場合には、管理者へ向けてメール送信が行われ、速やかに対応をとること。
14		セキュリティ要件	不正アクセス	必須	不正侵入検知システム (IDS) を設置し、常時観測を行う。また、ファイアウォールにて不正なアクセスを遮断すること。
15			暗号化対策	必須	SSL を用いた暗号化対策を実施し、ネットワーク上でのデータ盗聴や漏洩を防止すること。
16			ウイルス対策	必須	ウイルス対策ソフトウェアによるリアルタイム監視と、定期的なウイルス感染チェックを行うこと。ユーザの利用にあたっては、ユーザ認証を必ず実施すること。
17			運用	必須	IDS による不正なアクセスチェックのほかに、データ編集では必ず更新者が特定される運用を行うこと。
18			制御	必須	機器による制御 (ファイアウォール、ハブ、ルータ)、ソフトウェアによる制御 (ユーザ管理など) を行うこと。
19			データ復元	必須	日次バックアップを一定期間保管し、万が一の障害の際は、即座にデータ環境を復元できること。